

社会保障審議会 医療保険部会
部会長 遠藤 久夫 殿

第105回社会保障審議会医療保険部会に対する意見

2017年5月17日

一般社団法人 日本経済団体連合会
医療・介護改革部会長 望月 篤

第105回医療保険部会に欠席いたしますが、今回の議題の中には、医療保険制度の持続可能性を確保する上で、重要な論点が含まれていると考えます。したがって、下記の通り、意見を申し上げます。

記

○ 先発医薬品価格のうち後発医薬品に係る保険給付額を超える部分の負担の在り方について

社会保障給付費の適正化に向けて、政府の「経済・財政再生計画」に基づく「経済・財政再生アクション・プログラム」の「改革工程表」で示された項目を着実に実行することが重要だと考えます。

本日の議題である「先発医薬品価格のうち後発医薬品に係る保険給付額を超える部分の負担の在り方」について、見直しを前提に検討をすべきと考えます。

具体的な負担のあり方については、公的医療保険給付や患者負担、製薬企業に対する影響等について、定量的に明らかにし、政策効果を比較考慮した上で結論を得るべきであると考えます。

このため、厚生労働省には、早急に各種定量試算を行っていただきたい。

以 上